

仕事と生活の バランス

WLBキャッチフレーズ・これまでのグランプリ作品

2015	明るく、元気に、前向きに！ WLB進める“ええ会社”
2016	ワーク・ライフ・バランス 未来を託すあいことば
2017	変えよう働き方 認めよう多様性 笑顔が広がるワークライフバランス
2018	職場で大事なあの人は、家族にとっても大事な人
2019	知恵活かし 上手にバランス 暮らしと仕事
2020	会社の健康、社員から。社員の健康、暮らしから。
2021	今までと違う景色で、ひと仕事
2022	画面越し だけど伝わる あなたのやる気
2023	一般の部 育休で 自分が変わる 社会が変わる
	学生の部 見直そう 我が人生の 時間割

CONTENTS

2-5 | 特集

センター15周年記念特集

センター15年の歩み、データで見る15年、
セミナー開催実績、表彰企業のその後

6 | センター15周年記念事業

7 | INFORMATION

8 | わが社のWLBな人

わが社のWLBな人

詳しくは裏表紙へ



祝

センター15周年記念特集

センター15周年に寄せて



神戸大学大学院
経営学研究科教授 上林 憲雄
(ひょうご仕事と生活センター運営委員会会長)

センター15周年、誠におめでとうございます。センターの開設当初は、「ワーク・ライフ・バランス」は耳慣れない用語で、私が普段教えている学生にもピンとこない概念だったようですが、当センターの地道な活動が実り、昨今では学生の就活に当たってもワーク・ライフ・バランス関連指標が真っ先にチェックされています。

産業界でも、15年前には経済的余裕のある大規模事業所を中心にごく一部の施策が導入されている程度でしたが、昨今では中小零細規模の事業所においても意欲的でユニークな取組が多く見られるようになってきました。さらに、働き方改革や人的資本経営、リスクリング、サステナブル経営などの時流の概念の最も基底にある考え方として、ワーク・ライフ・バランスの重要性はますます高まるばかりです。

今後、センターがさまざまな活動を展開していくことで、働く一人一人の仕事と生活が一層調和し、個人も家庭も経営者も、皆が明るく希望を持って過ごせる幸せな社会が実現することを確信しています。

より一層の飛躍・前進を目指して



公益財団法人 兵庫県勤労福祉協会
ひょうご仕事と生活センター
センター長 辻 芳治

ひょうご仕事と生活センターが15周年を迎えました。この間、公労使三者協働という連携枠組みの下で、ワーク・ライフ・バランス(WLB)の全県的な推進拠点として、先駆的な取組を推進してきました。長きにわたりご支援を賜ってきた関係諸団体の皆さまに衷心より感謝を申し上げます。

バブル崩壊後の「失われた30年」真ただ中であって、WLBを県内企業へ浸透させるためのセンター事業は、まさに暗中模索の難しい船出でもありました。

しかし、さまざまな困難や課題を乗り越え、時代や企業ニーズの変化にも向き合いつつ、事業の拡充や改善によって、持続的な運営基盤の構築に努めてきました。

今日に至っては、働き方改革関連法施行やコロナ禍の影響による社会変革、人手不足時代の採用難なども相まって、WLB推進や両立支援、働き方改革は、もはや企業経営にとって必要不可欠な課題との認識が当たり前になってきたのです。この15周年の節目を機に、頼りにされる存在としてより一層の飛躍・前進を目指してまいります。

センター15年の歩み

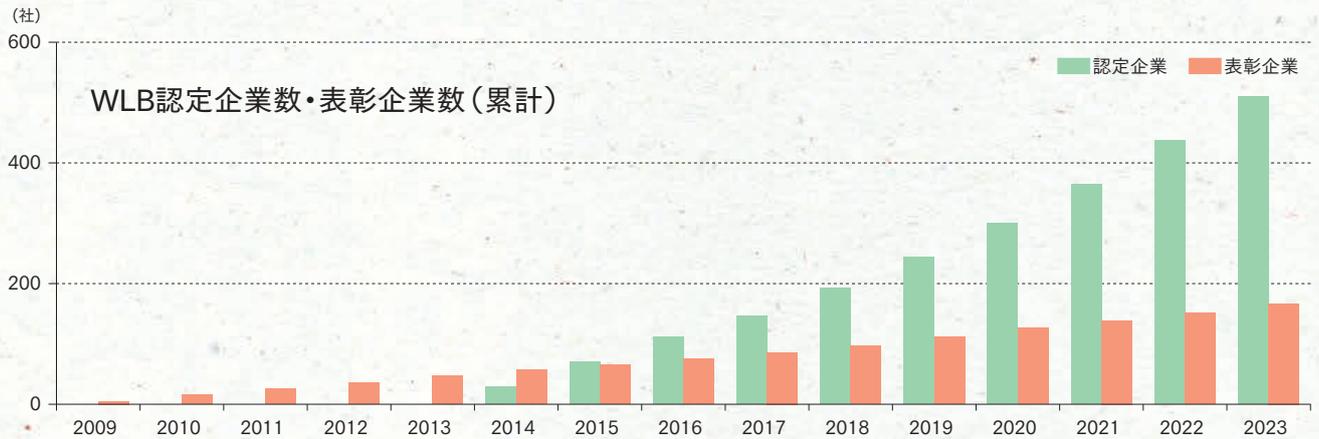
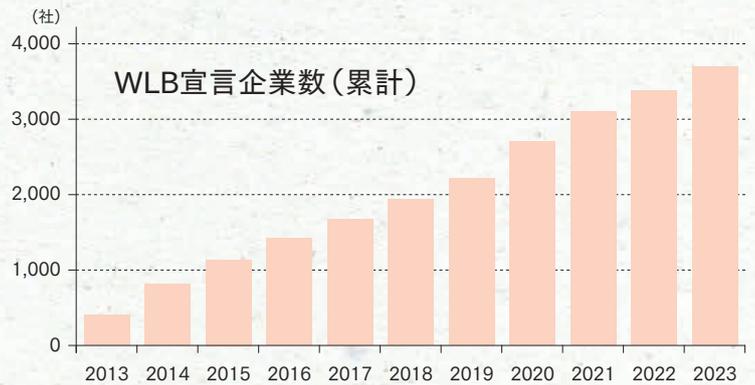
2009	6月3日	ひょうご仕事と生活センター開設	2016	4月	第2代 森本洋平センター長就任	
	9月	初代 北条勝利センター長就任		2017	4月	シンボルキャラクター「WLB7」誕生
	3月	第1回「ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」表彰式を開催			9月	国際フロンティア産業メッセに出展(以降毎年出展)
2010	4月	育児休業・介護休業代替要員確保支援助成金制度を開始	2018	4月	金融機関と連携したWLB推進企業への金融支援を開始	
	6月	メールマガジンの配信を開始		2019	4月	姫路事務所開設、5月に阪神事務所開設
2011	4月	従業員意識調査を開始	11月		10周年記念WLBフェスタを開催、10周年記念誌を発行	
	9月	仕事と生活のバランス推進フォーラムを開催	2020	4月	第3代 辻 芳治センター長就任	
2012	5月	兵庫県立大学との共同研究を開始(以降毎年実施)		7月	ICTアドバイザーを設置	
	6月	表彰企業学び合いの会(2015年度に認定・表彰企業学びの会に改称)を開始		2021	7月	WLBの取組に関するアンケートを実施
	7月	キーパーソン養成講座を開始(以降毎年開催)	3月		WLB表彰企業による合同企業説明会をオンラインで初開催	
2013	5月	ひょうご仕事と生活の調和推進宣言企業の募集を開始	2022	4月	WLB認定・表彰企業向けワーケーション特別割引プランを開始	
	11月	仕事と生活の調和推進・環境整備支援助成金制度を開始		10月	Instagramでの発信を開始	
2014	10月	自己診断システムを開始	2023	10月	WLB&テレワークに関する実態調査を実施	
	11月	ひょうご仕事と生活のバランス企業認定制度を開始		11月	シンボルキャラクター「WLB7」の名称を決定	
2015	6月	WLBキャッチフレーズの募集を開始(以降毎年募集)	2024	4月	自己診断システムをリニューアル	
	7月	WLB基礎講座を開始(以降毎年開催)		6月3日	ひょうご仕事と生活センター15周年を迎える	

データで見る15年

WLB宣言・認定・表彰企業数

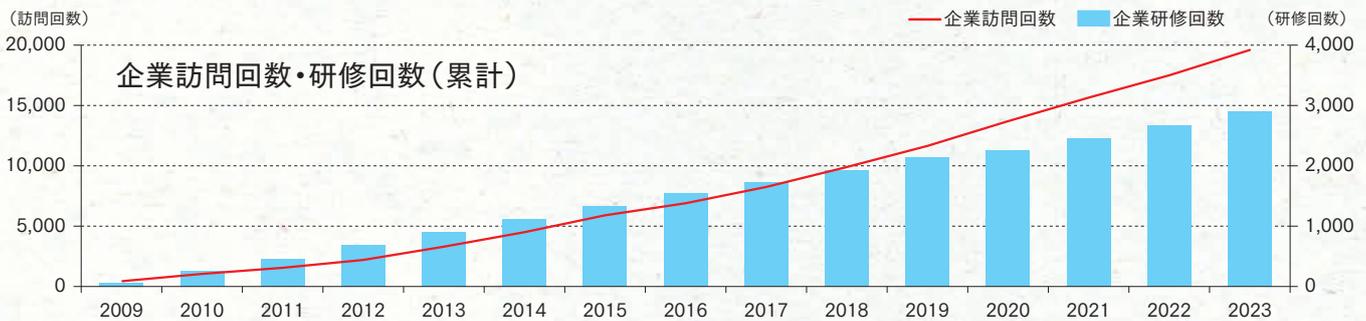
センターが開設された2009年度にまず表彰制度が始まりました。最初の表彰企業は5社。その後毎年10社程度を表彰し、現在の累計は167社となっています。

表彰制度に遅れること4年、2013年度にWLB宣言企業の登録制度が、その翌年度にWLB認定制度が始まりました。開始後11年間の宣言企業累計は3,600社を超え、着実に裾野は広がっています。認定企業累計は、この10年間で510社となっています。



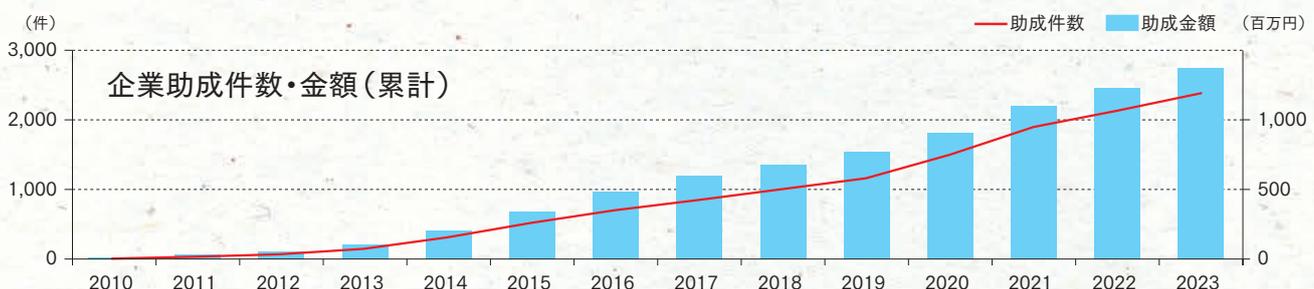
企業訪問回数、研修回数

センター開設以来、企業のWLBの取組をサポートするため、コーディネーター、コンサルタント等による企業訪問回数は累計約2万回となり、外部専門家等による企業研修回数は累計約3,000回となっています。



企業助成件数・金額(累計)

センター開設の翌2010年度に支給が始まったWLB推進のための企業助成金は、メニューの見直しを行いながら、件数・金額とも毎年着実に増加。2023年度までの14年間の累計は2,361件、14億6,000万円となっています。



セミナー開催実績

WLB基礎講座

WLBの取組を進める企業・団体の担当者に、WLBの必要性やメリット、取り組むに当たっての大切なポイントを伝える基礎的な講座として2015年度から開始。コロナ禍の2020年度からは、オンラインでの配信を開始し、気軽に参加できるようになっています。これまでの参加者の累計は415人となっています。



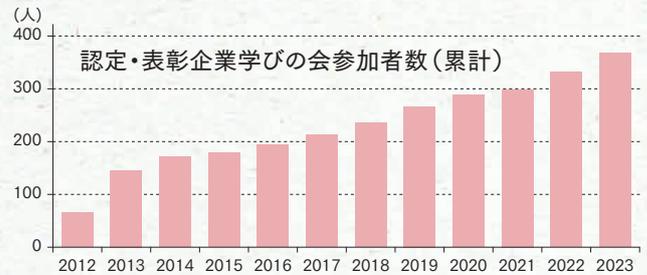
キーパーソン養成講座

WLBを組織全体で推進していくために欠かせない「社内でのキーパーソン(推進役)」の養成と「アクションプラン(行動計画)」の作成を目的に、2012年度から開始。年4回の講座を全て受講した人に修了証を授与しています。これまでの修了者の累計は274人となっています。



認定・表彰企業学びの会

2012年度に「表彰企業学び合いの会」としてスタート。2015年度からは認定企業を加え、WLB担当者のステップアップ研修として「認定・表彰企業学びの会」に改称。WLBに取り組む中で出てきた課題や解決策について、専門家の話を聞きながら学び合う会となっています。これまでの参加者の累計は368人となっています。



キーパーソン養成講座修了者インタビュー

全社的な取組が 受講を機に大きく前進しました

【2020年度認定企業】

株式会社ラスコジャパン(三木市)
経理部部長 黒田 真吉さん



Q.講座受講後に取り組んだことは?

2017年に講座を受講し、その一環で自社の現状を把握するために社内アンケートを取ったところ、人事の評価基準のあいまいさや長時間労働などの課題が浮き彫りになりました。ただ、当時はそれ以前の問題として、個々の実労働時間を正確に把握できていなかったため、まず就業規則の見直しに着手し、翌18年秋、全社員を対象に開催した労務研修会で新ルールを周知しました。同時に、各人の1年間の実労働時間を集計し、数値で見える化した資料も配布した上で、自身の改善点などを基に設定した目標を「WLB宣言書」に記入してもらいました。この研修会は毎年実施しており、働き方を振り返るいい機会になっています。おかげで月平均実労働時間は18年の172.7時間から

24年3月末には164.6時間に、有休取得率も38.5%から62.0%に改善されました。

Q.着実に成果が出ていますね。

養成講座の受講が弊社の職場環境改善に向けた取組の原点となり、その質も「労務状況の改善」から最近では「働きやすい環境づくり」に変化してきています。例えば、社内に話づらい雰囲気があるということで、労務研修会に講師を招いてコミュニケーションを活発化するためのワークショップを行ったほか、休憩スペースや給茶機などハード面も整備しました。22年からは定例ミーティング後に1分間スピーチや全員での社内清掃を導入し、部署を超えたコミュニケーションが生まれています。また、IT導入補助金を活用して勤怠管理や経費精算、受注管理をシステム化したことで、業務効率の向上につながっています。



1分間スピーチの様子。最近ではスピーチ後に質問が出るなど雰囲気も変わりつつあるそうです。

【2013年度表彰企業】

佐藤精機株式会社(姫路市)

表彰がもたらした好循環
さらに働きやすい環境づくりを

精密部品の切削加工で高い技術力を誇る佐藤精機。「表彰されてから、弊社を取り巻く環境は大きく変わりました。社名を知っていただくのはすごく大事なんだと実感しました」と笑顔で話すのは、取締役常務の佐藤哲子さんです。受賞したことでメディアに取り上げられる機会が増え、新規顧客も増加。その効果を受けてさまざまな認証制度を積極的に取得した結果、宇宙航空研究開発機構(JAXA)や航空機部品を扱う大手重工メーカーなど航空宇宙産業からも仕事の依頼が舞い込むようになり、受賞当時とは事業内容も取引先も一変したといいます。



高度化する案件に対応するとともに社員の意欲を引き出すため、同社では資格取得を推奨しており、その成果を能率手当として待遇面にも反映。現在は4人の特級技能士を含む社員の8割が技能検定の有資格者で、そ



ソフトテニス選手として活躍する池田和樹さん(左)。大会や合宿に向けて仕事を調整したり遠征費を補助したりと、会社として活動を応援しています。

れらの客観的な評価が取引先へのアピールポイントにもなっているそうです。

また、表彰を機に年1回、社員と常務の1対1の面談の場を設け、出てきた声を新たな制度や働きやすい環境づくりに反映させています。「『もっと難しい仕事に挑戦したい』『こういう事情があるから残業を減らしてほしい』などいろいろな話をしてくれます。その都度対処することで、社員が少し遠い未来について考えるようになったり、心の負担を軽くする手助けができたりと、さまざまな面でやってよかったと感じています」と佐藤さん。メンタルヘルス窓口を設けて対応に当たる、事情により退職した社員とのつながりを持ち続けるなどきめ細やかな対応で、付加価値の高い仕事を生み出す社員たちをバックアップしています。

【2017年度表彰企業】

株式会社夢工房(神戸市中央区)

個々の事情に合わせて
さらに柔軟かつ多様な働き方を

食と健康に特化したソフトウェアを開発・販売する夢工房は、結婚や出産を機に退職した理系の女性たちを集めて1986年に設立されました。発足の経緯から、フレックスタイムや短時間勤務、在宅勤務などの制度が世の中に浸透する以前にいち早く導入していたことなどが評価され、2017年度企業表彰を受賞しました。

個々の事情に合わせた多様な働き方を実現する風土がもともと根付いていたため、受賞後も変わりなく継続しているとのこと。現在も従業員は女性11人、男性3人と圧倒的に女性が多く、勤続20年、30年のベテラン社員はもちろん、両親を介護する男性やUターンしたシングルマザーなど、家庭との両立のしやすさを求めて新たに入社した転職組も活躍しています。



受賞当時、良好な職場環



ブラインドと窓の間に設置したカーテン。「快適になった」と好評です。

境づくりのために設けていた職場環境改善委員会は、現在も3カ月に1回ほどのペースで活動中。各部署の代表者2人ずつで構成され、夏季休業の日程や子ども連れで行ける社員旅行先など全社的な事項を決めるほか、社員から上がるさまざまな意見や要望に対応しています。最近も、「窓から差し込む光がまぶしい」との声に対し、遮光・遮熱・遮音効果があるカーテンを設置。「小さな不満はくすぶっているうちに解消するに限ります。それらが燃え出してしまわない間に、誰でも気軽に言い出しやすいようにしています」と、代表取締役の田中裕子さん。「わくわく愉しく」を合言葉に、一人一人が伸び伸びと、かつ効率的に働ける同社の職場環境づくりはさらに高みを目指します。

センター15周年記念事業

兵庫県勤労福祉協会60周年・センター15周年記念 ワーク・ライフ・バランスフェスタ

参加無料

11月29日(金) 13:00~15:45

【会場】兵庫県公館大会議室

【定員】先着200人



①表彰式・修了式

- ・ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰式
- ・ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズ表彰式
- ・キーパーソン養成講座修了式

②講演「センター15年とこれからの人的資本経営について」



【講師】上林 憲雄 氏(神戸大学大学院経営学研究科教授)

神戸大学経営学部卒業。神戸大学大学院経営学研究科長、経営学部長等を歴任。2023年4月神戸大学大学院経営学研究科人的資本経営研究教育センター長に就任。専門は経営組織論、人的資源管理論、経営管理論。近年は、人的資本経営の総合的研究、働きがい・モチベーション向上施策、“考える人間”・“創造的人材”の育成方法等のテーマに関心を持つ。

③パネルディスカッション「人を大切にする経営・企業のあり方について」

WLB先進取組企業等によるパネルディスカッション ※10月からセンターホームページにて参加者募集予定

ワーク・ライフ・バランス地域セミナー・シンポジウム

参加無料

姫路地域

10月21日(月)13:30~15:00



【地方の中小企業の採用成功法則】

【会場】姫路商工会議所新館2階201研修室

【定員】先着70人+オンライン100人

【講師】桜井 透 氏(人事の扉株式会社代表取締役)

地方×中小企業専門の採用コンサルタント。新卒から20年間、人材・採用業界に従事し、地方の中小企業700社以上の採用を支援。大手就活ナビと大手企業が創り上げた成功セオリーとは違った、地方の中小企業独自の採用戦略を構築。



詳細は
こちらから

神戸地域

10月28日(月)14:00~16:10



【ヌルい職場は誤解!心理的安全性が高く生産的な職場づくり】

【会場】兵庫県私学会館大会議室

【定員】先着110人

【講師】石井 遼介 氏(株式会社ZENTech代表取締役)

心理的安全性の計測尺度・組織診断サーベイを開発するとともに、ビジネス領域、スポーツ領域で成果の出るチーム構築を推進。著書に「心理的安全性のつくりかた」、監修書に「心理的安全性をつくる言葉55」がある。



詳細は
こちらから

阪神地域

11月11日(月)14:00~16:00



【採用の視点から考える中小企業の働き方】

【会場】尼崎商工会議所701会議室

【定員】先着100人

【講師】山下 紗矢佳 氏(武庫川女子大学経営学部経営学科准教授)

中小企業の多様性・採用など兵庫県内を中心に行政・経済団体・産学連携等の社会貢献活動に取り組む。兵庫県中小企業家同友会LINC(産学公連携推進本部)アドバイザー、ひょうご経済・雇用戦略推進会議構成員等を歴任。



詳細は
こちらから

安心・安定の福利厚生制度「ひょうごファミリーパック」のご案内

兵庫県では、中小企業を対象とした地域密着型の福利厚生制度「ひょうごファミリーパック」を提供しています。ニーズの高い「健康」「福利厚生」「給付」「融資」の4分野を全てカバーし、1社単独では導入困難な大企業並みの福利厚生を代行し、元気な職場を応援します。

法人企業だけでなく、小売商等の個人事業所、医療・福祉施設、各種団体も加入いただけます。ぜひご活用ください。

中小企業経営者の皆様へ



……………経営者の方にも社員さんにも嬉しいメニューが！……………

- インフルエンザ予防接種補助(最大3,000円/人) **配偶者も!**
- 勤続報奨金など12種類の給付金を支給
- 人間ドック補助(最大20,000円/人) **配偶者も!**
- 提携施設で使える利用券26,500円分
(内、食事券等最大6,000円)
- パート・アルバイトさんの会費1/2を助成(3年間 最大9,000円/人)

ひょうごファミリーパック

(公財) 兵庫県勤労福祉協会 共済部
〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3-28
TEL078-351-6786 FAX078-341-1520



男性の子育て研修を実施する企業等に講師を派遣します!

兵庫県では、男性の育休促進や多様な働き方に向けた企業の取組を後押しするため、各企業の課題やニーズに合わせたオーダーメイドの研修を実施しています。ご希望に添った講師を無料で派遣します。ぜひご相談ください。

【募集企業・事業所】

おおむね15人以上のセミナー受講希望者がいる県内の企業、事業所等
(受講希望者が少ない場合は合同での開催も可能です。ご相談ください)

問い合わせ先：NPO法人ファザーリング・ジャパン関西

詳細はこちらから▶

TEL 070-1819-4747 E-mail info@fjkansai.jp



10カ所程度募集
応募枠になり次第
締め切り

ワーク・ライフ・バランス 関連書籍紹介

ひょうご労働図書館(兵庫県中央労働センター1階)は、労働関連の図書・資料のほか、専門書を中心に幅広いニーズに対応する"みんなの図書館"です。お気軽にご利用ください。TEL078-367-3895

ひょうご労働図書館 検索

「なぜ働いていると本が読めなくなるのか」(2024年4月発行)

あなたが読書できないのは、日本社会の「働き方」のせい!?

「仕事と読書」の歴史をたどる中で、今よりはるかに労働時間の長い高度成長期にサラリーマンが司馬遼太郎の大作「坂の上の雲」(文庫で8巻)を読んでいた理由も記載。

最終章では、「働きながら本を読める社会。それは、半身社会を生きることに、ほかならない」との呼びかけがあります。本好きの永遠の悩みに挑んだ話題書、まず著者の若さに驚かれてからひもといてみてください。

著者：三宅 香帆 発行：集英社

なぜ働いていると
本が読めなくなるのか



わが社のWLBな人



WLB7

はぐペン(ペンギン)…夫婦共働きで協力しながら子育て
ケアモン(さる)…親の介護を行いながら職務に励む
テレくま(くま)…テレワークを利用して在宅勤務
キーライオン(ライオン)…社内におけるWLBのキーパーソン
アクティビー(みつばち)…女性社員のリーダーで初の女性役員候補
ヤルぞう(ぞう)…再雇用制度等を利用するベテラン
フレッグ(カエル)…フレックスタイムを利用

シンボルキャラクター「WLB7」のテーマに沿ってワーク・ライフ・バランス(WLB)を進める方々をFacebook、Instagramで紹介しています。



Facebook



Instagram

2024年4月～6月に取り上げた人をご紹介します。

【2021年度認定企業】

上林建設株式会社(宍粟市) 土方さん〔表紙写真:左〕



ヤルぞう
(高齢者活躍)

「夢なき者に成功なし」がモットーの土方さん。今は建設現場の現場監督をしており、9時から16時までの間で働いています。普段からきちっとした仕事をするのを心がけ、お客さまからの信頼も抜群です。「若い人が多い職場ですが、普段通りに、年齢を気にしないようにしている」とのこと。仲間からは「筋の通った、頼りになる人

す!」と評判です。社長からは、「『困ったときの土方さん頼み』で今まで何度も助けてくれました。知恵と度胸と経験に頼っています」と信頼の言葉も頂きました。これからも「生涯現役、生涯現場監督」ですね!

〈2024年6月〉

【2018年度認定企業】

株式会社アイ・キューブ(芦屋市) 広野さん(中央下)ほか社員の皆さん〔表紙写真:中〕



テレくま
(テレワーク)

同社は社長の広野さんを中心に5人の主婦たちが集まって創業した当初から、それぞれ自宅で仕事をするのが当たり前のスタイルでした。社員が増えた今も、在宅勤務には日数や理由に制限を設けず積極的に活用しています。広野さんが常に大切にしているのは、社員を信頼して裁量を与えること。「自分は信頼されているん

だ」という感覚が社員の中に生まれると、「その信頼に応えたい」という気持ちも高まってくると広野さんは感じています。社員同士が互いの仕事に敬意を抱き、質の高いチームワークを発揮する同社の風土は、自由度の高い在宅勤務制度を通じても培われているようです。

〈2024年4月〉

【2018年度表彰企業】

アスカカンパニー株式会社(加東市) 清水さん(左)〔表紙写真:右〕



キーライオン
(キーパーソン)

入社4年目の清水さんは、HR・管理グループで採用業務やSNS・取材対応などを担当しています。「自らWLBを実現して発信していくことが大事」という上司の言葉を大切に、「雪が積もった時に、わざわざその日だけのためにスタッドレスタイヤを買うなんてもったいないから、テレワークしたらいいよと言ってもらえた」など、自

身の体験を発信することを意識しています。入社当初は「本当に若手が制度を利用できるのか」といった不安も多少はあったそうですが、普段から気軽に話ができる環境があることで、その人に合った働き方を実現できているとのこと。表彰企業になった後も、進化する同社の魅力を発信しています。

〈2024年5月〉

センターの主な事業

- ワンストップ相談 ● コーディネーター、コンサルタントの派遣 ● 外部専門家による研修・実践支援
- テレワークサポートセンター ● 自己診断システム ● 中小企業従業員意識調査 ● 企業助成

公益財団法人 兵庫県勤労福祉協会 ひょうご仕事と生活センター



〒650-0011 神戸市中央区下山手通6-3-28 兵庫県中央労働センター1階

TEL 078-381-5277 FAX 078-381-5288 E-mail info@hyogo-wlb.jp

開館 月～金曜 9:00～17:00(祝休日、年末・年始を除く)

阪神事務所

〒660-0881 尼崎市昭和通2-6-68

尼崎市中小企業センタービル6階

TEL 06-6481-1888

姫路事務所

〒670-0947 姫路市北条1-98

兵庫県立姫路労働会館1階

TEL 079-288-2603



おかげさまで15周年を迎えることができました〈センタースタッフ一同〉

<https://www.hyogo-wlb.jp/>

ひょうご仕事と生活センター

検索